報道発表資料様式

８／１５（木）の発表

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時　８月１５日（木）１５時００分

発表項目（行事名）	道南地域における「カシノナガキクイムシ」の生息確認について		
記者レクチャーのお知らせ	（実施日時）	発表者	
		発表場所	
概要	令和５年度に北海道で初めて被害が確認された、ミズナラ等が集団枯死する「ナラ枯れ」の、病原菌を媒介するカシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」という。）の生息調査を実施しましたのでお知らせします。 【ポイント】 ○　ナラ枯れ被害が発生した道南地域で調査を実施し、15箇所で119個体の生息を確認 1　生息調査の概要 ・目　　的：カシナガの生息有無の確認 ・調査期間：７月上旬から７月下旬（１ヶ月間） ・調査場所：道南地域（30箇所） ・調査方法：各地点にカシナガの集合フェロモンを用いた成虫捕獲トラップを設置し、１ヶ月後に回収、カシナガの有無を確認 2　直近の調査結果 ・R5：トラップを28箇所設置、５箇所で17個体を確認 （その後、松前町及び福島町で被害木15本を確認） ・R6：トラップを30箇所設置、15箇所で119個体を確認 3　ナラ枯れ被害拡大防止対策会議の開催 ・生息調査の結果を踏まえ、ナラ枯れ被害確認調査などについて検討 (1)日時　令和６年８月23日（金）９時30分～12時 (2)場所　道庁別館９階　第１研修室 (3)出席　北海道森林管理局、試験研究機関、関係市町村、道 (4)内容（予定） 主催者挨拶（水産林務部林務局森林計画担当局長） ナラ枯れ被害確認調査について　等		
参考	【ナラ枯れとは】 カシナガがミズナラ等の幹に穿入する際、ナラ菌が樹体内に持ち込まれて蔓延することにより枯死します。 樹体内で成長・羽化した新成虫が体にナラ菌を付着させ、別の健全なミズナラ等の個体に移動、穿入することで、周囲に被害が拡大します。 令和５年度には、北海道で初めて7.2m3の被害が確認され、全国では44都道府県において12.1万m3の被害が発生しています。 【情報提供について】 道では、下記ホームページにおいてナラ枯れ被害に係る情報提供をお願いしていますので、情報発信についてのご協力をお願いします。 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/srs/new23/hogo.html		
報道（取材）に当たってのお願い	３の「ナラ枯れ被害拡大防止対策会議」は、議題の中でカシナガ生息調査の詳細が扱われますが、本情報は森林所有者の風評被害につながる恐れがあり非公表事項としていますので、会議は冒頭挨拶のみ公開とし、会議終了後に個別取材対応をいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付（場所） 同時レク：林政記者クラブ		

担当（連絡先）	水産林務部林務局森林整備課（担当：課長補佐　澤村　健太） ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１１－２０４－５５０７内線　２８－６０４